

当クリニックでは新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として

1. 受付時と精算前のアルコールによる手指消毒をお願いしております
2. マスクの着用をお願いしております
(持参しておられない方にはお渡しします)
3. 発熱や風邪症状のある方は別室で診察させていただいております
4. 室内換気を頻回におこなっております
5. ドアノブや診察室・待合室のアルコール消毒を頻回におこなっております

御協力よろしく申し上げます

新型コロナウイルス感染症でないかと思ったら

下記のいずれかの症状があれば[新型コロナ受診相談センター](#)に相談してください

1. 風邪の症状や**37.5℃**以上の発熱が**4日以上**続く方
2. **強いだるさ**や**息苦しさ**がある方
3. 以下のような方で風邪の症状や**37.5℃**以上の発熱が**2日程度**続く方
御高齢の方 妊婦の方
糖尿病 心不全 呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患、肺気腫など)のある方
人工透析中の方 免疫抑制剤や抗がん剤を服用しておられる方

症状や持病の程度に応じて

自宅で経過観察 クリニック受診 専門医療機関受診 などが指示されます

[新型コロナ受診相談センター](#) 06-7178-1370 (平日 9:00-17:30)

(吹田市保健所 06-6339-2225: 上記以外の時間)

※PCR検査に関して

PCR検査に関しては、感染防御の観点から当クリニックでは施行していません

PCR検査をおこなう原則適応は [日本感染症学会](#)・[日本環境感染学会](#)の見解によると

「**入院治療の必要な肺炎患者で、ウイルス性肺炎を強く疑う症例**」とし

「**時間の経過とともに重症化傾向がみられた場合には実施を考慮する**」としています

新型コロナ受診相談センターの可否判断もこれに基づいているものと考えられます

お困りな事があれば、当クリニックに御相談ください

オンライン診療も用意しております お問い合わせください

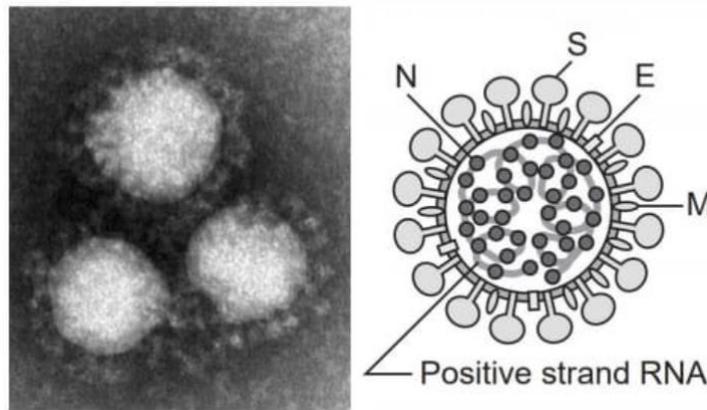
あさひが丘 やぐらクリニック 院長 矢倉 明彦

TEL 06-6170-8860 FAX 06-6170-8861

MAIL yagura.clinic@gmail.com

① コロナウイルスとは

コロナウイルスとは何百というウイルスの仲間のひとつで顕微鏡で見ると、王冠(ギリシア語でコロナ)のようなエンベロープと言われるもので覆われていることからこう呼ばれています。これまで風邪を引き起こすウイルスなど 4 種類のコロナウイルスがわかっていましたが、2019 年 12 月に中国湖北省 武漢市で発生した原因不明の肺炎は、これらとは違う新型のコロナウイルス (SARS-CoV-2) が原因であることが判明し、これによる肺炎などの感染症を新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) と呼びます。



② 感染経路

感染経路は主として飛沫感染 (ひまつかんせん) と接触感染の2つが考えられます。

(1) 飛沫感染 感染者の飛沫 (くしゃみ、咳、つば など) と一緒にウイルスが放出され、他の人がそのウイルスを口や鼻から吸い込んで感染します。

※感染を注意すべき場面※

屋内などで、お互いの距離が十分に確保できない状況で一定時間を過ごすとき

(2) 接触感染 感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後、自らの手で周りの物に触れると感染者のウイルスが付きます。他の人がその部分に接触するとウイルスが手に付着し、感染者に直接触れなくても感染します。

※感染の例※

電車やバスのつり革、ドアノブ、エスカレーターの手すり、スイッチなど

③ 病状経過

潜伏期は 1-14 日といわれています。多くの方で曝露から 5 日程度で、発熱、呼吸器症状 (せき、のどの痛み、鼻水、鼻づまり) で発症し、曝露から 10 日で医療機関を受診されます。その後重症化する方は、受診 2 日で重症化、受診 5 日で集中治療室入室といわれており病状悪化は極めて早いとされています。重症化のリスク因子として、高齢者、基礎疾患 (心血管疾患、糖尿病、悪性腫瘍、慢性呼吸器疾患など) があげられています。

④ 新型コロナウイルスに関する検査

1. PCR 検査（遺伝子検出法）：鼻咽頭ぬぐい液あるいは喀痰の検査

感染の有無を調べるために専門施設でおこないます。

鼻腔や咽頭のぬぐい液を綿棒で採取したり、痰をチューブで採取して調べます。

2. 抗体検査（イムノクロマト法）：血液の検査

発症から2週間以上経過して抗体ができたかどうかを検査します。

「以前に感染したかどうか」を調べます。退院の基準に利用したり、無症状で感染した人を把握するための疫学的調査に使おうという動きもあります。

⑤ 治療

アビガン(抗インフルエンザ薬) レムデシビル(エボラ出血熱治療薬) オルベスコ(ぜんそく薬) カレトラ(抗 HIV 薬) クロロキン(抗寄生虫薬)などの有効性が報告されてはいますが、確立された治療法ではありません。従いまして、症状に応じた治療(対症療法)が主体となります。酸素の取り込みが悪ければ酸素投与を、それでも維持できなければ人工呼吸や人工心肺(エクモ ECMO)を始めます。

⑥ 用語の解説

感染者

鼻腔あるいは咽頭液から PCR 法で新型コロナウイルスの反応が陽性にでた方

濃厚接触者

感染者の「発症 2 日前以降に」「手で触れることのできる距離(目安 1 メートル)」で「(マスクなどの)必要な感染予防策なしで 15 分以上の」接触があった方

重症者

酸素投与が必要な方

重篤者

人工呼吸や人工心肺など集中治療室での管理が必要な方

参 考

1. 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症(COVID-19) 診療の手引き・第1版

<https://www.mhlw.go.jp/content/000609467.pdf>

2. 国立感染症研究所 ヒトに感染するコロナウイルス

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc/2482-2020-01-10-06-50-40/9303-coronavirus.html>

3. 日本感染症学会ホームページ

<http://www.kansensho.or.jp/>

4. 日本環境感染学会ホームページ

<http://www.kankyokansen.org/>

5. 吹田市新型コロナ受診相談センター

https://www.city.suita.osaka.jp/home/soshiki/div-kenkoiryo/chikihoken/_92306/saigaitokansennsyou_copy.html